

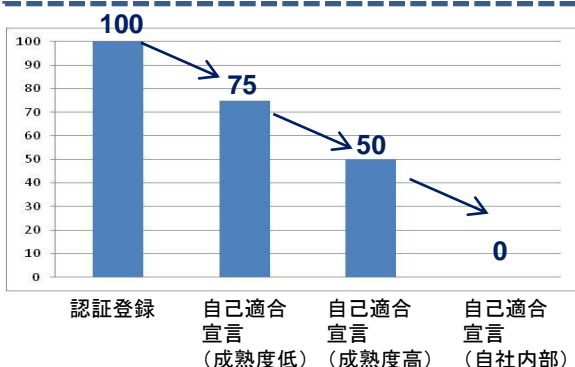
## ISO自己適合宣言への移行で 審査費用の削減と経営革新を 同時に実現します。

ISOの形骸化や認証登録審査にかかるコストなど、ISOに関する悩みを多く耳にします。この声なき声を受けて発足したのがNPO法人SDC 検証審査協会です。当協会では適合性評価の国際規格であるISO/IEC17050/JIS Q17050のもと、中小企業のISO活動における自己適合宣言を支援するとともに、第三者的立場で自己適合宣言の当該規格の適合性の評価（検証審査）を実施しています。



### ●自己適合宣言への移行によるメリット(ISO9001/14001対応)

- ①形骸化したISO活動を、経営に役立つISO活動に改革できます。
- ②人に言われてやるISOから、自ら進んでやるISOになります。
- ③合理的な審査、経費等の削減により、審査費用を減らすことができます(※)



※認証登録にかかる費用を100とした場合の費用比較。自己適合宣言への移行により、将来的には審査に要する外部費用ゼロを目指します。

審査費用の削減により、  
教育やマーケティング、  
社会貢献等  
未来への投資が  
可能になります！

### ●よくあるご質問とお答え

#### Q: 取引先の了解は得られるのでしょうか。

A: QCDがしっかりしていれば、まず大丈夫です。一定の条件のもとでは、「自己適合宣言」の方が「認証登録」よりも高く評価される事例が確認されています。

#### Q: 従来の監査とプロセス的にどこが変わるのでしょうか。

A: 基本は大きくは変わりません。ただし、経営に役立つとの観点から、適合性審査に有効性審査をあわせて、形式にこだわらず合理的な審査をすることになります。

#### Q: ISO事務局の負荷はどのように変わりますか。

A: 従来の審査では、ISO事務局が当日の審査のためにあわてて準備し対応するケースが多く見られました。ISO自己適合宣言／検証審査は、そもそも自主的活動のため、ISO事務局も自然体で審査に望むことができます。指摘されたら直すスタンスのため、ISO事務局の審査対応の負荷は軽減されます。

#### Q: 切り替えに要する期間はどのくらいですか。

A: 下記の2パターンが考えられます。  
a) ISO認証取得からISO自己適合宣言／検証審査への切り換えの場合：手続き処理に要する約1ヶ月程度で可能です。手続き処理とは、現行の認証機関に対して「今回は受審しない」との連絡をし、当協会とISO自己適合宣言／検証審査の受審希望日程を調整することを指しています。  
b) ISO認証取得していない場合は、QMSやEMSの構築後にISO自己適合／検証審査を受審します。システム構築、運用に10ヵ月程度かかります。

#### Q: どのくらいコストダウンが見込めますか。

A: 認証登録の審査費用の3割弱は削減できます。その後は、お客様のISOの成熟度により審査工数は低減しますので、費用はさらに下がります(上のグラフ参照ください)。

お問い合わせはお気軽に

NPO法人SDC検証審査協会 浜松市中区泉2丁目10-8 Tel (053)489-7801 担当/中村  
ホームページもご覧ください.....><http://www.v-sdc.jp/>





## 企業活性化の教育研修

当協会では自己適合宣言の普及に向けて、様々なISO内部監査員養成研修やセミナーが可能です。受講を希望される方は下記より申込みをお願いします。受講料について1名当たり1日2万円/半日1万円(又は1時間5,000円)とし、オンラインの場合は1名から、対面の場合は2名から対応させて戴きます。その他のISO内部監査やセミナーはホームページを参照下さい。

研修テーマ	内 容	セミナー時間	実施方法		備 考		
			対面	オンライン			
ISO 内 部 監 査	内部監査員養成研修	・従業員数の10%が目安と言われますが、内部監査員が不足していませんか？ ・ISO規格要求事項は業務のあるべき姿を教えてください。これを理解することで業務の進め方に対するステップアップを図ることができます。 ・当協会の経験豊かな審査員が規格を分かりやすく解説し、内部監査の進め方を指導します。	1日 コース	○	○	非内部監査員が対象	
	(新) 内部監査員スキルアップ研修	・ISO規格解説は必要最小限に留め、内部監査での質問事項(チェックリスト)やその進め方に重点を置いた指導を半日程度で実施します。内部監査活動の進め方で困っている組織に対して、活発な内部監査活動に向けて集中的に指導します。要望があれば予めお困りの内容に関する事前打ち合せも可能です。環境ISOの場合は最新改正情報も含めることができます。	半日 コース	○	○	内部監査員が対象	
セ ミ ナ ー	品質	3Hでヒューマンエラー対策	3H(初めて、変更、久しぶり)でヒューマンエラー対策の未然防止 ・現場でヒューマンエラーを防ぐ未然防止の手法を指導します。	3時間 x 2回	○	○	現地指導も可能
		5Sが定着する効果的な方法	5S活動の定着は、利益の源泉です。成功する5S活動を紹介します。	2~3時間	○	○	現地指導も可能
		現場改善の方法	現場改善のポイントを紹介、また改善の具体策を指導します。	3時間 x 2回	○	○	現地指導も可能
		QC七つ道具の理解と応用	品質管理の考え方を理解し、QC七つ道具を使って問題解決への知識と技能が習得できます。	3時間 x 2回	○	○	現地指導も可能
	原価	原価の仕組み(損益分岐点)とは	原価の仕組み(損益分岐点等)を学び、製品の原価算出方法と原価低減への取り組みができます。	3時間	○	○	現地指導も可能
	環境	環境法令の基礎知識	最新の環境法令を紹介します。	2~3時間	○	○	現地指導も可能

お問い合わせはお気軽に

NPO法人SDC検証審査協会 浜松市中区泉2丁目10-8 TEL (053) 489-7801 担当/中村  
ホームページもご覧下さい . . . . > <http://v-sdc.jp/>